

# 大分県 作業療法士連盟NEWS

「働く幸せ」  
に支えよりそう人でありたい



就労サポート事業所 ミチデルにて

## 【CONTENTS】

- ◆大分県作業療法士連盟 設立10周年特別企画
  - ：議員サミット …P2～P3
  - ：合同記念式典・他 …P4
- ◆活動報告
  - ：議員視察・他 …P5
  - ：選挙応援 …P6
- ◆こんなところに作業療法士・他…P7
- ◆教えて！政治のあれこれ …P8

発行：大分県作業療法士連盟  
事務局：  
〒870-0124  
大分市大字毛井553-1  
(デイサービスセンター案内)  
TEL：097-529-9025  
FAX：097-520-1765



議員サミット

YouTubeにて視聴可能  
【大分県作業療法士連盟】  
に、アクセス!

# テーマ「作業療法の未来を明るく 政治をもっと近くに」

## 作業療法議員が未来について語り合う



作業療法士議員サミット 開催

日時：令和4年8月19日（19:00～21:00）  
参加議員：中村 義雄 氏（福岡県 北九州市議会議員）  
大田 祐介 氏（広島県 福山市議会議員）  
浦野 さとみ 氏（東京都 中野区議会議員）  
牛尾 容子 氏（広島県 広島市議会議員）  
河合 秀紀 氏（大阪府 河内郡河南町議会議員）  
志智 央 氏（愛知県 稲沢市議会議員）

### 第1セッションテーマ 「高齢化社会において 議員として作業療法士としてできること」



中村議員

＜第一セッションにて、今まで取り組んできたことや  
今度の施策を話す中村議員＞

各区役所にリハビリ専門職を配置、行政の中枢である本庁舎にリハビリ専門職を入れていくことが大事。



河合議員

各地区で頑張っているリハ職の皆さんには  
頑張ってもらいたいと思っています。



『ぐるマル（ぐるっとマルごと東広島）フェスタ』  
というものがあって、

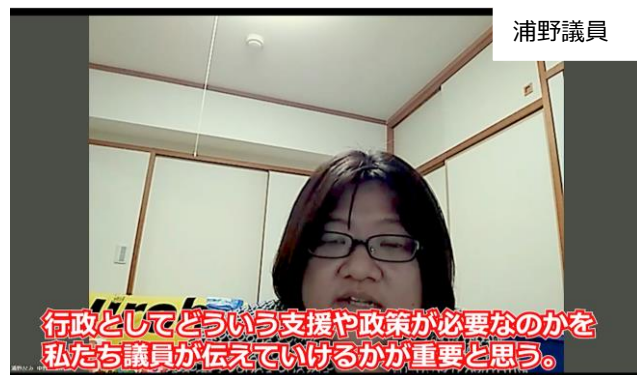
- 作業療法士が、短期通所型サービスCでADLの改善の結果を見せないといけない。それぞれが高い意識をもって地域で目の前の利用者の為に全力をだしてほしい。
- 介護予防の行政的確なインセンティブの重要性、これを確立して地域貢献します。ただ、予算をとってくるのは議員の役割ですから…（河合議員）
- 『認知症になっても暮らしやすい広島を作る会』など、認知症の方々を地域で支え合い、ファッションショーなどを開催している。まさに作業療法士と議員の活動を両立している状況です。（牛尾議員）

※ 介護予防・日常生活支援総合事業における短期集中型（通所型・訪問型サービスC）利用者の日常生活に支障のある生活行為を改善するために、利用者の個別性に応じて、専門職が関与したプログラムを、短期間で集中的に実施するサース。



牛尾議員

私も、議会の一般質問で、フレイル対策の事業を  
市役所のスペースを使用することを提案しました。



浦野議員

行政としてどういう支援や政策が必要なのかを  
私たち議員が伝えていけるかが重要と思う。



## 議員サミット

### 第2セッション

### 「子ども達が住みやすい居場所づくり、 議員として作業療法士としてできること望むこと」



大分県作業療法士連盟 荒木良夫

市議会の一般質問において学習障害（ディスレクシア）に対する合理的配慮についてお話しされていました。具体的にはどのように取り組まれているのでしょうか？

また、インクルーシブ教育の観点から学校での発達障害者支援や個別支援が必要な児童に関して、学校側の理解も必要なことあると思います。この点に関してどのような働きかけをされていますか？。

僕自身が不登校になった経験があり、そのこともまた議員を目指した理由の一つなんです。不登校の子供の背景にはいろいろありますが、その一つに勉強についていけないとか、発達障害なども関与し周りとうまく接することが難しいということがあると思います。学校の先生や保護者含め周りの方々になかなか理解してもらえない現状があります。その問題を少しでも改善できればと考えています。

そういった発達障害をもった子供の特徴や対応など、学校の先生たちや周りの方々にもわかってもらえるよう議会などでも提言しています。



志智議員

志智 央 稲沢市議会議員

### 第3セッション（自由討論）

### 「地域の明るい未来のために～作業療法士が携われること、携わるべきこと～」

Q：議員として、地域の医療機関やそこで働く職員とどう連携（関り）をもっていますか？（浦野議員、志智議員）

A：色々な場所に顔を出すのが一番、飲み会にも積極的に参加し、横の繋がりを大切にする（中村議員）

Q：市民からの相談内容は何か多いですか。

ちなみに私は医療や福祉関係相談が約8割です。（中村議員）

A：私も、色々な相談を受けます。その相談を解決していく上で、その分野について勉強し、詳しくならなければならないと感じています。職域を広げるのと一緒に、議員としての幅を広げることが大事。



大田議員

大田 祐介 福山市議会議員

### 良い機会になった。これで終わりにせず、 またOT議員で繋がっていききたい！（中村議員）

設立10周年特別企画として、作業療法士の地方議員と『OT議員サミット』と題し意見交換会を行いました。参加者から、積極的な意見が飛び交い作業療法の知識・視点を地域行政に活かしていることが理解出来ました。YouTubeで公開中です。是非、視聴してください。（大分県作業療法士連盟のホームページからアクセスしてください）

各議員から「作業療法士議員の意見交換とても良い経験になった。」「ぜひこれで終わりにせず、またOTの議員で繋がっていききたい」との意見も聞かれました。

意見交換会では、各議員の考え方を聞きつつ『普段取り組んでいる活動』について報告していただきました。5年前から「やりたい」と企画していた内容でした。対面開催は、できませんでしたが、とても熱い意見交換会となりました。

# 合同記念講演会&記念式典

## 記念講演

日時：10月16日(日)10:00~12:20

場所：大分県労働福祉会館ソレイユ7Fカトレア&Web配信

## 講演「燃えよ！作業療法士～地域の明日を革新する～」

〈講師〉 杉原 素子 氏

(前日本作業療法士協会会長・日本作業療法士連盟会長)



記念講演では、杉原素子氏に、協会と連盟がともに歩んだ10年を振り返り今後10年の展望や方向性について示唆していただきました。連盟10周年の軌跡やOT議員サミットのダイジェスト動画も上映しました。



〈佐藤議員、衛藤議員、吉竹議員、足立氏（表彰にて）〉



記念式典では、コロナ禍での開催にあたり、オンライン参加と現地参加を分けハイブリット開催としました。

関係議員を表彰するなど感謝の意を表すことができました。

## 記念式典



〈足立信也氏（祝辞）〉



## 作業療法学生の作品が大分市駅を彩る



藤華医療技術専門学校 作業療法学科 学生「阿部原大（げんた）」さん（19）のイラストが、大分市の「アミュプラザおおい」が入り口や館内を華やかに飾りました。多くの人が、目にしたことと思います。

作品は「アミュ・ファンタジー・クリスマス」がテーマの水彩画です。

通勤客や買い物客が行き交う入り口6カ所と館内の装飾、印刷物、デジタルサイネージ（電子看板）、ホームページに採用されました。



## 議員視察

### 日常生活・介護予防総合支援事業

#### 『(短期集中型) 通所型サービスC』のZoom視察

日時：4月26日(火) 10:00～12:00

参加者：衛藤延洋氏(大分市議会議員) 佐藤昭生氏(豊後大野市議会議員)

施設：デイサービス楽

≪視察内容≫

株式会社ライフリー代表取締役で当協会の副会長でもある佐藤孝臣氏より、介護保険の現状についての話と、総合事業(短期集中予防サービス)の視察をオンラインで行って頂きました。少子高齢化に加え、単身世帯の増加、医療費や介護給付費の増大、介護人材の不足などの観点からデータを下地域包括ケアシステムはさることながら、生活行為や口腔ケア・栄養管理が介護予防に重要である事を分かりやすく説明して頂きました。

現地視察では、実際に利用者が運動を行っている場面や、個別の体力測定や生活の聞き取り、口腔の評価など行っている場面を見せて頂き、また3ヵ月間の介入での改善を動画を含め前後比較して見る事ができました。

≪参加議員：衛藤氏・佐藤氏≫

対談では、医療よりも介護が国民の関心事である一方、地域サロンを活用するなど継続したフレイル予防に努めながら、フォーマルなサービスは適切に選択できるよう変えていかなければいけないと、今後の意識改革に目を向けた非常に具体性のある話をする事ができました。



### 『発達障害専門塾』の現地視察

日時：10月20日(木)

参加者：岩川義枝氏(大分市議会議員)、木山千枝、菊池由加理

視察：複合スペース marble(一般社団法人 虹色)

≪視察内容≫

複合スペース marbleの活動を見学し、津田氏や高森氏から作業療法士だからできる専門的な関わりについて、さらに特別支援教育についての課題や今後の展望について説明していただいた。

≪岩川議員≫

作業療法士が行う特性の把握のためのアセスメント手法、特性に合わせた教材選びなどについて、意欲的に質問をされていました。

また、実際に活動の様子を熱心に視察され、学習だけでなく生活技能について学ぶ児童達と笑顔でコミュニケーションをとられていました。



岩川義枝氏



## 全体研修会

### 診療報酬改定の意味と今後の社会保障費の動向について～2024年のトリプル改定を見据えて～

日時：6月5日(日) 10:00～11:30

講師：前参議院議員 医師 足立信也氏

テーマ① 2022年度診療報酬改定の概要

テーマ② COVID-19の影響と対策について

テーマ③ 今後の医療体制・社会保障のビジョンについて



研修会は、足立氏と当連盟の荒木会長とで対談形式で行われました。足立氏からは、リハビリ関連の診療報酬改定や今後の医療体制や社会保障のビジョン等についてをわかりやすく説明して頂きました。特に、「今後の社会保障のビジョン」については、研修会に参加した方の関心が特に高かった様子が参加者の感想より伺えました。

また、COVID-19の対策についても、足立氏が随分前からコロナウイルス流行に関しての様々な予測や、5類にするために必要なことと今後のコロナウイルスの扱いなどについて政治的な課題を教えてくださいました。

社会情勢や社会保障費など色々と今後目まぐるしい社会変化が予測される中、私たち作業療法士が今後の社会を見据え責任感を持って社会貢献できる職種として意識して取り組まないと、今回の研修会を通じて改めて考えさせられました。



選挙応援

参議院議員選挙(7月10日 投開票)

大分県作業療法士連盟は2022年の参議院議員選挙で2人の候補者(右写真)を全力で応援しましたが、残念な結果になりました。

しかし、私たちは今後も2人の動向を応援していきます。

ご協力ありがとうございました。  
2022年参議院議員選挙

今後の動向に注目!



写真右:大分県理学療法士連盟 石丸氏  
写真左:大分県作業療法士連盟 荒木氏

小川克己氏の比例区選挙応援  
大分県理学療法士連盟と「第26回参議院議員通常選挙に関する協定」を結ぶ。

参議院選挙ご報告 (小川氏コメントより)

7月10日に行われた第26回参議院議員通常選挙において、私、小川かつみは全国の皆様から**118,246票**をいただいたものの**455票**という僅差で苦杯を舐めることとなりました。  
※小川克己氏ホームページより引用(詳細ご覧ください)  
<https://ogawa-katsumi.com/>より

皆さんご協力ありがとうございました。  
連盟としてこの結果を受け、今後の活動を一層改善まいります。  
これからもご協力お願いいたします。

臼杵市議会議員選挙(4月24日 投開票)

祝 当選 活躍期待



足立 信也氏  
大分選挙区立候補



小川 克己氏  
比例代表立候補



大塚 州章氏  
臼杵市議会議員



応援演説をする荒木会長



推薦状の交付



# サッカーチームを運営する作業療法士

## 運動が苦手な子供たちにも心身の成長の場を提供するサッカーコーチ

週3回、宇佐市内で子供たちにサッカーを指導する中原さん。水曜日のこの日は市内小学校体育館で練習(18:00~17:30)していることを聞きつけ、取材に行ってきました。隣町の中津市内の施設で仕事を終え、すぐさま練習現場に到着した中原さんは、すぐさま準備に入り休む暇もなく練習が始まりました。練習中は常に子供たちに声をかけ、メニューを上手くこなせない子供を見つけては個別に指導するなど、90分間フルに動きまわられていました。「厳しい」という雰囲気は一切なく、楽しくサッカーの素晴らしさを子供たちに伝えているという印象でした。

仕事を終え、そのあとにこのような地域活動をされている中原さんのパワーにただただ脱帽の取材でした。今後も頑張ってください！



中原 笙氏  
(社福)直心会  
つくし園

【プロフィール】  
大分リハビリテーション専門学校作業療法学科卒業後、中津脳神経外科病院を経て現在に至る。

【チーム紹介】  
Divert.FCは2022年5月に立ち上げ、来年度より宇佐市・大分県サッカー協会に登録した新しいチームです。年長~小学6年生を対象とし、週に3回活動しています。現在4つの小学校と4つの幼稚園から17名の子が集まり校区や学年を越えてサッカーを楽しんでいます！！

### 【子供たちにサッカーを教える思い】

私は、中津市にある「つくし園」という医療型児童発達センターで働いています。つくし園には運動・言葉発達のゆっくりな子や行動面が気になる子が通っています。仕事を行う中で親御さんから「習い事をさせたいけど、迷惑をかけるから」「運動が下手だから怒られたり、ばかにされたりしそうだから習わせられない」等の言葉をよく耳にします。では発達障害を抱えた子は習い事を習わせられないのか？私は違うと思います。どう伝えるのか、どうしたら出来るのか、どう仲間と関わるのかをチーム医療と同様に指導者・保護者・作業療法士、時には学校や保育園の先生にもアドバイスをもらい、チームで考えていくことで解決出来ると考えています。どんな子でも楽しく過ごせるチームを指導者兼作業療法士の立場からつくっていきたいと思います。

## 幹事からのコメント



幹事  
伊東 竜太郎

連盟が設立し10周年を迎えました。そこで10周年特別企画委員を立ち上げ、私はその担当をさせていただきました。特別企画として、連盟設立当初より実現したい企画であった、全国の作業療法士議員を集めた意見交換会『OT議員サミット』を実施することができました。全国で奮闘しているOT議員の方々の話を聞けてとても貴重な経験となりました。会員の皆さんも視聴できるよう連盟YouTubeチャンネルにも掲載していますので、ぜひ閲覧してください！

また、記念式典では(公社)大分県作業療法協会と合同で開催しました。連盟の事業としては初めてのハイブリット開催となり、不慣れな運営も見せてしまいましたが、記念式典自体は新しいことへの挑戦もでき、連盟として一歩前へ進めることができたと思います。11年目、次の20周年に向けてまた来年から一歩ずつ大分県作業療法士連盟が前に進むために助力できればと思います。10周年を迎えることができましたのも、会員の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

## 部員からのコメント



企画広報部員  
武生 光陽

今年の4月から作業療法士となり、荒木会長の右腕として認められるよう、現在連盟広報部員として活動しています(笑)。学生時代に思い描いていた作業療法士連盟とは、政治家の方と関わりなが

ら今後の作業療法について考えていくものだと思っていました。しかし、実際には政治の事だけでなく、私が所属している広報部では、連盟グッズやニュースなど様々な事に取り組んでおり、自分たちで作成したものが商品になることもあり、とても楽しくやりがいを感じています。

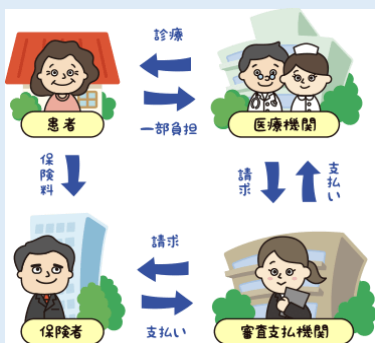
興味のある方はぜひ一緒に広報部で活動しましょう！

診療報酬改定の仕組み

診療報酬はこのように決定されている

■ そもそも診療報酬とは？

「この医療サービス（治療や検査など）はいくらなのか？」ということを表しています。  
『リハビリテーション』をはじめ、MRIやCTといった『検査』、ドクターによる『手術』も医療サービスの一部です。それらの医療サービスはそれぞれ異なる金額設定となっており、それが「診療報酬」です。個々の医療サービスを点数化（1点10円）しています。



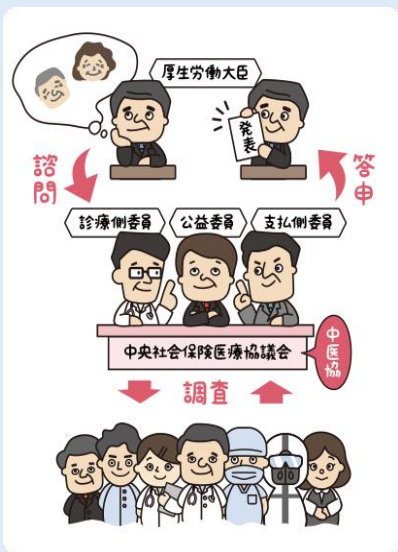
■ 診療報酬改定とは？

診療報酬の点数は、医療の進歩や日本の経済状況などを踏まえて、通常**2年に一度**見直しが行われています。これを「診療報酬改定」と呼んでいます。

まず、年末に政府が国の予算編成をする際に診療報酬全体の「改定率」を決定し、それを基に、厚生労働大臣の諮問機関である中央社会保険医療協議会（以下、中医協）に意見を求めます。

中医協では、前回改定の影響を検証するなど議論を重ね、その上で厚生労働大臣からの諮問に対して、厚生労働省の社会保障審議会医療保険部会並びに医療部会で決められた改定方針に従って、個々の医療行為に対する点数の見直し内容を決めています。

※中医協：公益委員（学者など）、診療側委員（医師の代表など）、支払側委員（健康保険組合の代表など）の三者構成となっています。



■ 連盟・協会がどのように診療報酬改定に関わっている？



⇒連盟が活動することで、協会の提出する素案が通りやすくなります！

イラスト引用および参考資料：日本医師会ホームページ



大分県作業療法士連盟のホームページから検索！

連盟グッズの購入にご協力ください！

